

# チーム演技



## 11 中央ろう学校 (東京都)

かいて  
3回目

■演技タイトル / 「THIS IS ME」

■演技内容 / ダンス・演劇・歌唱・アメリカ手話  
■メンバー人数 / 4人

▼動画はこちら



## 13 熊本聾学校 (熊本県)

かいて  
4回目

■演技タイトル / 「笑う門には福来る～熊ろう寄席～」

■演技内容 / コント・落語  
■メンバー人数 / 5人

▼動画はこちら



## 12 真和志高等学校 (沖縄県)

かいて  
5回目

■演技タイトル / 「時をこえ  
～今私たちができること～」

■演技内容 / ダンス・演劇  
■メンバー人数 / 13人

▼動画はこちら



## 14 岡崎東高等学校 (愛知県)

かいて  
3回目

■演技タイトル / 「smile ～笑顔が人をつなぐ～」

■演技内容 / ダンス・短歌  
■メンバー人数 / 8人

▼動画はこちら





# チーム演技



## 15 米子東高等学校 (鳥取県)

初出場

演技タイトル /

「**私たちが君の耳になる**」

演技内容 / **ダンス・演劇**

メンバー人数 / **12人**

動画はこちら



## 17 横浜南陵高等学校 (神奈川県)

3回目

演技タイトル /

「**スマイル星人地球へ!**  
~笑顔で心が通じる 笑いでみんなを幸せにしよう!~」

演技内容 / **演劇・コント**

メンバー人数 / **12人**

動画はこちら



## 16 三井高等学校 (福岡県)

5回目

演技タイトル /

「**True Colors ~九人九色~**」

演技内容 / **歌唱・ダンス**

メンバー人数 / **12人**

動画はこちら



## 18 杏和高等学校 (愛知県)

4回目

演技タイトル /

「**おそそ仁王**」

演技内容 / **狂言**

メンバー人数 / **9人**

動画はこちら





# チーム演技

## 19 田鶴浜高等学校 (石川県)

■演技タイトル /

「自分の言葉で思いを表現できる社会の実現」

■演技内容 / 歌唱・演劇

■メンバー人数 / 6人

かいつ  
5回目

▼動画はこちら



## 20 奈良県立ろう学校 (奈良県)

■演技タイトル /

「Star Light」

■演技内容 / 演劇

■メンバー人数 / 3人

かいつ  
5回目

▼動画はこちら



# ゲストパフォーマンス

## ●手話パフォーマンス きいろぐみ

流行りの歌や手話ラップなど多彩な手話パフォーマンスをはじめ、来場者への手話レッスンなどで会場がひとつになりました。

▼動画はこちら



## 大会公式応援ソング

●HANDSIGN  
「この手で奏でるありがとう」

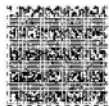
▼動画はこちら



第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 公式応援ソング

作詞：TATSU、SHINGO 作曲：中村泰輔





# 閉会式

## 審査員長講演

審査員長  
庄崎 隆志

今回受賞された皆様、おめでとうございます。  
第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園は、皆さん全員のお陰を持ちまして、無事終了することができました。台風で交通機関も乱れ、皆さんご心配だったと思いますが、無事開催することができました。台風の影響など関係なく、本当に皆様には素晴らしいパフォーマンスを見せていただきました。ありがとうございます。20チームの皆様は、レベルが高い、そして心のこもった見応えのあるパフォーマンスで、本当に最高のステージだったと思います。

優勝から第3位までの受賞理由を簡単に紹介させていただきます。

まず、優勝の真和志高等学校は、出演者一人ひとりが、手話表現、エイサー、踊りなど、様々な物を使い、本当にバランスよく協力し合いながら、観客席と舞台の垣根もなく、開放感のある演技が伝わってまいりました。本当に素晴らしい作品で、「命を守る」そのテーマにあわせてとても巧みな作品で、これは表現だけでなく、やはり演者の心が一つになった、それが私たちにとても伝わる舞台でした。

準優勝の黒石原支援学校は、今回こんな大舞台に一人ひとりが手話ボエムをされた佐藤君。テーマが車いすに乗って気づいたこと。幕開けから、本当に内容が深く、色々な支障があっても負わずにチャレンジしていく、友達を輪でどんどん広げていく、そんなことが伝わる本当に素晴らしい



い作品だったと思います。

第3位の熊本聾学校は、客席の皆さんも大笑いでした。とてもチームワークのよい演者達でした。そして、舞台と客席が、何かキャッチボールをしているような空間でした。きっと大変な練習を積み重ねてこられて、本当に全身で表現していただきました。

今回残念ながら受賞できなかった皆さんも、色んなことを発見していただき、また来年も、ぜひ、練習をして参加していただきたいと思います。

最後になりますが、今回新しい発見が色々あり、審査員長として、とてもうれしく思います。観客の皆様と舞台が一体となって、観客の皆様も本当にとてもいい表情でした。最初の不安な表情はどこへいったか、満足感のある甲子園だったと思います。

この素晴らしい手話パフォーマンス甲子園の益々の発展と継続を心からお願いしたいと思います。そのためには、皆さん、それぞれの県で手話パフォーマンスの伝道師として頑張っていたいただきたいです。そうすると地域の聞こえない方々もとてもうれしく思います。手話は言語であるということも、ぜひ広めてください。

本当に今日は素晴らしい大会となりました。関係者の皆様も、本当にありがとうございました。

## 閉会あいさつ

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長  
下垣 彰則

受賞されたチームの皆様、おめでとうございます。また、惜しくも受賞を逃されたチームの皆様も本当にお疲れ様でした。

会場の皆さん、今年の第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園はいかがでしたでしょうか。本大会出場場の20チームの皆さんが、この大会を目指し研鑽された演技、パフォーマンスを一生懸命披露してくださいました。私たちは、皆さんのパフォーマンスを見させていただきまして、本当に感動いたしました。この手話パフォーマンス甲子園は、聞こえる、聞こえないに関係なく、観る人の心に響くものだと思います。それによりまして、手話言語の魅力、そして素晴らしい、手話言語の必要性を社会に広げてくれるものだと思います。



第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催にあたり来賓の皆様をはじめ、審査員の皆様、ご来場の皆様、出演された高校生の皆様、そして関係者の皆様、本当にありがとうございました。来年の手話パフォーマンス甲子園で、また、皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

以上をもちまして、第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会いたします。





# かいじょう もよお 会場の催し



## たもくてき ほーる ほわいえ 多目的ホールホワイエ

**1** **手話カフェ**  
しゅわ かふゑ  
よなごし  
米子市にある手話カフェsign協力のもと開催し、無料ドリンクを提供しました。(手話や筆談などで注文)

**5** **あいサポート・マルシェ**  
あひ さぽーと まるしゑ  
しょう ふくし きーぷす じぎょうしよ てんぽ  
障がい福祉サービス事業所11店舗が出店し、飲食物などの販売を行いました。

**2** **高校生販売コーナー**  
こうこうせいはんばい こーな  
じちと とっとりけん こうこうせい くらよしのうぶこうとう  
地元鳥取県の高校生(倉吉農業高等学校・米子松蔭高等学校)による実習製品などの販売を行いました。

**6** **郷土芸能ステージ**  
きょうとげいのう すてーじ  
よなごほくほうこうとうがっこう きょうとげいのうぶ  
米子白鳳高等学校郷土芸能部による「淀江さんこ節」で来場者をおもてなしました。

**3** **鳥取県聴覚障害者協会コーナー**  
とっとりけんしやうかくしやうがいしやうかい こーな  
たいかいきやうさいや こうしや とっとりけんしやうかく  
大会共催者の(公社)鳥取県聴覚障害者協会によるオリジナルグッズなどの販売を行いました。

**7** **協賛企業PRコーナー**  
きやうきんきぎやうびーあーる こーな  
たいかい たいだい きやうきん  
大会に多大な協賛をいただいた企業・団体様のポスター・チラシ展示などをPRブースを設置しました。

**4** **鳥取県手話サークル連絡協議会コーナー**  
とっとりけんしゅわさーくるれんらくきやうかい こーな  
とっとりけん しゅわ さーくる れんらくきやうかい  
鳥取県手話サークル連絡協議会による活動PR、また大山讃歌の手話歌体験などを行いました。

## じょうほう ぶらざ 情報プラザ

**8** **手話パフォーマンス甲子園公式グッズ販売**  
しゅわ ぱふおーまんす こうしえんこうしきぎづせいはんばい  
たいかい きねん こうしき ぐずす せいさく  
大会の記念に公式グッズを製作し、販売を行いました。

**11** **鳥取県のお土産販売コーナー**  
とっとりけん みやげはんばい こーな  
とっとりけん とくさんひん みやげ はんばい  
鳥取県の特産品やお土産の販売コーナーを設置しました。

**9** **サテライト会場**  
さてらいと かいじょう  
りんじやうかん おおがたすくりん えいぞう  
臨場感あふれる大型スクリーン映像でステージの模様を上映しました。

**12** **鳥取県立学校写真作品展**  
とっとりけんがっこう しゃしんさくひんてん  
とっとりけんがっこう せいと きつまい しゃしん  
鳥取県立学校の生徒が撮影した写真10点を展示しました。

**10** **ワークショップ**  
わーくしよぶ  
だれ たの  
誰でも楽しめる3つのワークショップを実施しました。(Claraのアート体験、砂色色付体験、缶バッジづくり)

## えんとらんす エントランス

**13** **手話パフォーマンス甲子園PRコーナー**  
しゅわ ぱふおーまんす こうしえんがーあーる こーな  
たいかいしやうかいおと だい かいたいかい しょう  
大会紹介及び第1回大会からの様子 ぼるる てんじ しゅつじやうちーむ  
子のパネル展示、また出場チームの学校パンフレットを展示しました。

**14** **総合案内**  
そうごうあんない  
らいじやうしや かいじょう あんない すたんぷら  
来場者へ会場の案内やスタンプリーの受け付け、演目の貼り出しなどをPRを行いました。

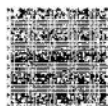
## かいじょうぜんたい 会場全体

**スタンプラリー**  
すたんぷらりー  
かいじょうんない せっち すたんぷ  
会場内に設置された5つのスタンプを集めるスタンプラリーを開催し、達成した方に記念品を贈りました。

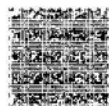
## じえいあーるよなごえき JR米子駅 ※会場外

**おもてなしブース**  
おもてなしぶーす  
けんないがい らいじやうかく あんないしよ じえいあーるよなごえき  
県内外からの来場客の案内所としてJR米子駅におもてなしブースを設置し、大会の紹介や鳥取県の観光PRを行いました。





# 交流会



## 日時

平成30年10月6日(土)18時～20時

## 会場

ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間  
(鳥取県米子市久米町53番2号)

## 出席者

約300人

- 手話パフォーマンス甲子園出演者  
(出場チーム、審査員、司会など)
- 来賓  
(国会議員、全日本ろうあ連盟、日本財団、  
鳥取県議会議員など)
- 主催、共催者  
(実行委員会委員、鳥取県、鳥取県聴覚障害者協会)

## 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## 形式

立食ビュッフェ

## 次第

- 主催者あいさつ(平井 伸治 鳥取県知事)
- 乾杯(稲田 寿久 鳥取県議会議長)
- 出場チーム抱負
- 演技司会者からのエール  
(早瀬 憲太郎さん、中野 郁海さん)
- マクロ解体ショー
- アトラクション(井崎 哲也さん)
- 審査員長からのエール(庄崎 隆志さん)
- 主催者あいさつ  
(宮本 則明 手話パフォーマンス甲子園実行委員会  
企画推進会議委員長)



会場の様子

## 皇室の御臨席

佳子内親王殿下に御臨席をいただきました。



大会に出場する高校生と御歓談になる佳子内親王殿下

## アトラクション

### 井崎 哲也さん サインマイム

日本ろう者劇団(社会福祉法人トット基金の付帯劇団)  
顧問。手話劇・サインマイムなどをとおして、ろう者の文  
化を普及していくための活動を続けていらっしゃいま  
す。今回は「鳥」をテーマにしたサインマイムで会場を盛  
り上げていただきました。

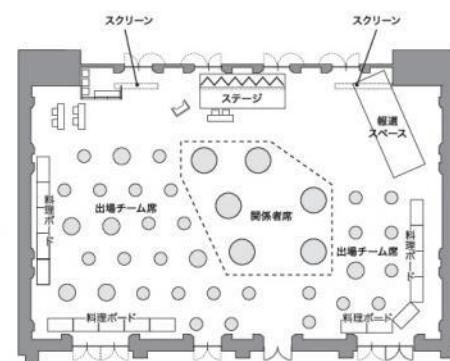


会場の様子



マクロ解体ショー(すなば珈琲提供)

## 配席図



多くの料理を提供



記念撮影をする高校生の皆さん



# 予選審査会



## 日時

平成30年8月2日(木)～3日(金)

## 会場

鳥取県庁(鳥取県鳥取市東町一丁目220番地)

## 審査員(4名)



審査員長 庄崎 隆志さん  
演出家・俳優



審査員 小中 栄一さん  
一般財団法人  
全日本ろうあ連盟副理事長



審査員 門 秀彦さん  
絵かき



審査員 寺川 志奈子さん  
鳥取大学地域学部 教授

## 審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により手話言語の正確性、演出力の観点から審査を行い、本大会に出場する20チームを選出しました。



## 審査結果は全国へ配信

8月3日(金)に、結果発表会及び本大会での演技発表順などの抽選を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



ライブ配信映像の様子

## 予選参加チーム(本大会出場チーム除く。)

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、28都府県から、62チーム(65校)の参加申込みがありました。※以下には、本大会出場チームを除く42チーム(43校)を掲載しています。

ブロック名	学校名
北海道・東北ブロック	●古川黎明高等学校(宮城県)
関東ブロック	●ふじみ野高等学校(埼玉県) ●熊谷高等学校(埼玉県) ●誠和福祉高等学校(埼玉県) ●西武台千葉高等学校(千葉県) ●青峰学園(東京都)
中部ブロック	●啓新高等学校(福井県) ●身延山高等学校(山梨県) ●岐阜聾学校(岐阜県) ●掛川工業高等学校A(静岡県) ●掛川工業高等学校B(静岡県)
近畿ブロック	●八幡高等学校(滋賀県) ●京都八幡高等学校南キャンパス(京都府) ●日星高等学校(京都府) ●まつばら高等学校(大阪府) ●松原高等学校(大阪府)
中国・四国ブロック	●鳥取聾学校(鳥取県) ●岩美高等学校(鳥取県) ●美作高等学校(岡山県) ●清水ヶ丘高等学校(広島県) ●城南高等学校(徳島県)
九州・沖縄ブロック	●大和青藍高等学校(福岡県) ●神埼清明高等学校(佐賀県) ●平戸高等学校(長崎県)





# こうほう 広報



## こうこく ● 広告など

- ・日本海新聞/記事体広告(3回)
- ・日本海新聞/うさぎの耳 1ページ(2回)
- ・日本海テレビ/たいかいびーある広ぐあ 2分(2回)
- ・日本海テレビ/たいかいびーある広ぐあ 2分(2回)
- ・日本海テレビ/開催告知ラジオCM 15秒(30回)

- ・日本海テレビ/情報番組「スパイス・カフェ」にて告知
- ・FM山陰/開催告知ラジオCM 20秒(5回)
- ・24時間テレビイベントでのPR



きじたい こうこく  
記事体広告



みみ ページ  
うさぎの耳 1ページ



じかん てれびいべんと  
24時間テレビイベント



てれびしーえむ  
テレビCM

## ちらし ● チラシなど



えー ばん ちらし  
A4版チラシ  
しゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
出場チーム募集編



えー ばん ちらし  
A4版チラシ  
しゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
出場チーム決定前編



えー ばん ちらし  
A4版チラシ  
しゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
出場チーム決定後編



けんすいまく  
懸垂幕



おうだんまく  
横断幕



びー ばん びー ばん ばすたー  
B1版/B2版ポスター



うちわ



ふうとう  
封筒



たいかい たくじょうたいかい  
大会のばり/卓上 大会のばり/卓上  
開催PR用 大会紹介用



## ゆーちゆうぶ どうが ● YouTube動画

※手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネルにて公開



しゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
出場チーム募集編



ほんたいかいしゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
本大会出場チーム決定編



ほんたいかいしゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
本大会案内編



たいかいしゅつじょうちーむむけいしゅうへん  
大会総括編



おうえんめっせーじ いきき てつや  
応援メッセージ 井崎 哲也さん



おうえんめっせーじ なかの いくみ  
応援メッセージ 中野 郁海さん



おうえんめっせーじ あだ  
応援メッセージ 貴田 みどりさん



おうえんめっせーじ でふだぶる  
応援メッセージ デフWさん

## ゆーちゆうぶ らいぶ はいしん ● YouTubeでのライブ配信

(手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル)



がつにちさん よせんしんきかいけつかほっぴょう  
8月3日(金)予選審査結果発表



がつにち ほんたいかい  
10月7日(日)本大会

## ほーむぺーじ・SNS ● ホームページ・SNS

こうしきさいと かいせつ ふえいすぶく ついたー らいん  
公式サイトを開設。Facebook、twitter、LINE、  
YouTubeを活用し、大会情報などを随時発信しまし  
た。また、公式LINEスタンプを販売しました。

## でいずぶれい こうこく ● ディスプレイ広告

さんいんしゅうえき とっとりえき くらよしえき よなごえき まつえき いずもし  
山陰主要駅(鳥取駅、倉吉駅、米子駅、松江駅、出雲市  
駅)、協賛企業様の鳥取銀行、イオンの県内各店舗にお  
いて、デジタルサイネージによる広告を行いました。

## ほんどさいん ● HANDSIGN SCHOOL PROJECT

たいかいこうしきおうえん そんて たんとう ほんどさいん ふたり  
大会公式応援ソングを担当するHANDSIGNの二人  
が、大会開催地の鳥取県西部の高等学校を訪問し、  
トークショーや手話パフォーマンス体験を通して、手話  
及び大会のPRを行いました。

にち じ へいせい おん がつ にち げつ  
日 時/平成30年9月10日(月)  
さかいみなとこうぎじゅつこうこう とっとりけんさかいみなとしのけいり  
場所①/境港総合技術高等学校(鳥取県境港市竹内町925)  
ばしょ よなごびがしこうこう とっとりけん よなごし かんだまら  
場所②/米子東高等学校(鳥取県米子市勝田町1)





# 大会ダイジェスト番組

## 番組名



## 内容

第5回全国高校生手話パフォーマンス甲子園のステージの様子を中心に、「初出場枠」で出場を決めた琴の浦高等特別支援学校や、選手宣誓を行った鳴尾高等学校に事前取材を行い、大会の魅力、手話に対する思いをメッセージとして伝えました。また、番組の趣旨説明・ナビゲーターとして鳥取聾学校卒業生(第1回・第2回本大会出場者)の新井ほのかさんに出演いただきました。

ナビゲーター 新井ほのかさん

## 放送日

日本海テレビ  
平成30年11月4日(日)16時30分～17時30分



## 司会

TATSU (HANDSIGN)  
手話を取り入れたダンスグループ「HANDSIGN」のヴォーカル・パフォーマー、第1回大会は審査員、第2回大会はゲストパフォーマーとして参加し、大会との縁も深い。  
・近藤 あずみ(日本海テレビアナウンサー)

## レポーター

地元高校生が応援サポーターとして大会を同じ世代の高校生からのメッセージを視聴者へ伝えました。  
・鳥取敬愛高等学校 2年 河口 真里奈さん  
・湯梨浜学園高等学校 1年 鎌田 一伽さん  
・米子北高等学校 2年 橋木 颯さん



## 告知(ダイジェスト版)放送

日本海テレビ  
平成30年10月29日(月)22時54分～23時00分  
平成30年10月30日(火)21時54分～22時00分

# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## 実行委員会委員

役職	所属など	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長	久松 三二
	日本財団 理事長	尾形 たけじ
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	澤田 敬子
	鳥取県商工会議所連合会 会長	藤縄 匡伸
	鳥取県教育委員会 教育長	山本 仁志
	鳥取県福祉保健部長	藤井 秀樹

## 監事

役職	所属など	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	上杉 郁子
	鳥取県会計管理局会計指導課長	古田 慎一

## 企画推進会議委員

役職	所属など	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささあい福祉局長	宮本 則明
委員	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭
	鳥取県教育委員会 教育次長	足羽 英樹
	鳥取県高等学校長協会 会長	田中 正士
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	佐伯 友茂
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子

